第５０号

きくせん通信

菊川市市民協働センター　令和２年６月１８日発行

きくせん通信 創刊 50 号

市民協働センターは、「出会い・つながり・未来広がる協働センター」をモットーに、市民協働の拠点として、市民活動団体や企業、行政、学校等をつなぐ中間支援センターとして、市民の皆さまの活動をサポートしています。

平成28年度に市が設置し、ＮＰＯ法人アートコラールきくがわが運営する協働センターは5年目を迎えました。この間、新たに中高生など次世代を担う若者たちや、20～50代の現役世代の方たちが地域活動を身近に感じ、まちづくりに積極的に参加するようになりました。

「市民協働によるまちづくり」の地域への波及効果には無限の可能性が秘められており、地域を活性化させる大きな原動力になると確信しています。

今後もセンターでは今まで培った人脈や経験を活かし、地域の特性を考えながら、多様な方たちが出会い、交流の場を創出し、協働をコーディネートしていきます。皆さま、ぜひご期待ください。

センターＨＰ
kikucen.net

© 菊川市 2-013

市民協働センターの主な事業

市民協働センターでは、地域で活動する皆さんに対して様々な支援を行っています。

つなぐ（コーディネート）

協働センターは、市民活動団体、企業、学校、行政などと日頃から交流しています。「地域の団体とつながりたい」という要望があれば、それらの間に立ちコーディネートしていきます。

学ぶ（セミナーの開催）

地域に関わりたいと考える方のために、活動への一歩を踏み出すきっかけづくりをしています。また市民活動団体が抱える課題を自ら解決できるよう、様々なセミナーを開催しています。

聴く（相談）

「団体や NPO 法人を立ち上げたい」「CSR（企業の社会的活動）に取り組みたい」など活動を進める上での困りごとに対して、スタッフが日常的に相談に応じたり、行政書士や税理士などによる専門的な相談会を開催したりしています。

広げる（情報発信）

市民協働センターの登録団体の活動を、多くの皆さんに活動を知ってもらえるようホームページや SNS で広報面のサポートをしています。また、センター広報紙「きくせん通信」や「きくせん協働ガイドブック」を発行しています。

賑わう（地域活性化）

今年３月にオープンした菊川市役所庁舎東館「プラザきくる」の多目的エリアを利用したイベントの開催を支援しています。
今後もきくるを中心とした地域の賑わい創出を目指していきます。

編集・発行 /〒439-8650 菊川市堀之内 61　菊川市役所東館 プラザきくる２階　菊川市市民協働センター
電話 / FAX　0537-35-2220　メール　kikucen1@sage.ocn.ne.jp 【開館時間】月～金曜日：9 時～ 18 時　休館日：土・日曜日・祝祭日・年末年始

社会貢献活動に取り組む人たち

NPO 法人 生活支援施設かすみ草　髙塚 和彦さん

勤めていた企業を早期退職し、地域の人たちのために何かお役に立ちたいとの思いで法人を設立しました。託児や学童保育など子育て支援事業を中心に続け、今年で 15 年目を迎えました。子どもたちが施設で元気に過ごしてくれていることにやりがいを感じています。今後も「かすみ草に行きたい」と多くの子どもたちに思ってもらえるよう、魅力ある活動をしていきたいです。地域の皆さまの困りごとにも応えていきたいので、ご希望があればかすみ草までお話をしにきてください。

NPO 法人 小規模多機能ホームようこそ 伊藤 伊佐子さん

地域で暮らすお年寄りの多様で幅広いニーズに柔軟に対応したいという気持ちから NPO 法人を設立しました。ちょっと頼みにくい些細な事にも、小規模多機能ホームだからこそできるきめ細やかなサービスを提供したいと思っています。地域で安心して暮らすための居場所を目指して「ようこそおいで下さいました」と心を込めて活動しています。今後も誰もが住み慣れた場所でその人らしく安心して暮らすためのサポートをし、地域とのつながりをより深めていきたいと思っています。

NPO 法人 ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会 ルビオ・ダ・ロシャ・マルシアさん

菊川市近郊に住む外国人（多くはブラジル人）の日本での生活を助けたいという思いで 8 年前に NPO 法人を設立しました。子どもが好きで、困っている人が喜んでくれることが活動の原動力です。日本での生活のサポートの為に、園児から小中高校生、社会人に日本語、ポルトガル語、英語を教えています。今後は日本人とブラジル人だけでなく、様々な国の方と交流を深めることができるコミュニティーセンター作りに努めたいと思います。“Vamos Continuar A Vida Juntos!”「誰でも皆、一緒に力を合わせましょう！」

認定 NPO 法人 災害救助犬静岡　市川 金子さん

NPO に入会したきっかけは、自分が飼っていた犬のしつけのためでした。当初は他の犬とのあまりのレベルの差に悩みましたが、訓練を 1 年間休まないことを目標に続けていくうちに、次第に犬の成長が実感できるようになりました。実際の災害現場での活動には危険が多く恐怖を感じますが、犬の探索能力の高さを目の当たりにすると、だからこそ自分たちが活動を続けていかなくてはと思います。災害救助犬を育てるというとハードルが高く感じるかもしれませんが、皆さんもまずは犬の躾のためにと思って始めてみませんか。

菊川びとにインタビュー

◆ 菊川ジュニアビレッジ 村田和美さん

菊川ジュニアビレッジでは小学 6 年～中学 2 年の部員が毎週土曜日に活動しています。村田さんは農業とビジネスをツールに部員自らが課題解決力、責任感、先を見通す力、コミュニケーション能力を身に着ける為のサポートを行っています。課題を設定し、行動する中で部員の成長を見守ることに喜びを感じています。また活動を通じて部員が世界を広げ、進路を考えるきっかけ作りも担っています。興味のある方は HP からお問合せください。http://agriarts.org/kikugawajv/

▶次回は、静岡大学 4 年生の百田飛鳥さんです。

お 知 ら せ

◆ NBC メッシュテックからの版画寄贈

菊川市加茂に工場がある株式会社 NBC メッシュテックから菊川市に、2 点のシルクスクリーン版画が寄贈されました。寄贈された版画は、日本版画協会理事で世界的に活躍する中山隆右氏の作品で、プラザきくる 2 階の多目的エリアと市民協働センターに展示されています。6 月 2 日には寄贈記念イベントが行われ、菊川市役所の大石芳正総務部長から株式会社 NBC メッシュテックの外山剛工場長にお礼状が手渡されました。とても魅力的な作品ですので、プラザきくるにお立ち寄りの際には、是非ご覧ください。